

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成31年3月7日 (2019.3.7)

【公開番号】特開2018-23090(P2018-23090A)
 【公開日】平成30年2月8日 (2018.2.8)
 【年通号数】公開・登録公報2018-005
 【出願番号】特願2017-94364(P2017-94364)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 5/93 (2006.01)
 H 0 4 N 21/238 (2011.01)
 G 1 1 B 27/10 (2006.01)
 G 1 1 B 27/00 (2006.01)
 G 1 1 B 20/10 (2006.01)
 H 0 4 N 5/76 (2006.01)

【 F I 】

H 0 4 N 5/93
 H 0 4 N 21/238
 G 1 1 B 27/10 D
 G 1 1 B 27/00 D
 G 1 1 B 20/10 3 0 1 Z
 H 0 4 N 5/76

【手続補正書】
 【提出日】平成31年1月25日 (2019.1.25)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

録画されたビデオの時間的な範囲内の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための方法であって、前記録画されたビデオが、イントラフレームとインターフレームを含み、及び、前記録画されたビデオが、異なるフレームレートを有するビデオシーケンスを含み、前記方法が、

前記録画されたビデオ内に録画された、インターフレームにある特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するためのリクエストを受信すること、

前記リクエスト内で受信された前記特定の時間的な位置よりも前記録画されたビデオ内のより以前の時間的な位置におけるイントラフレームを特定すること、

前記特定されたイントラフレームから前記特定の時間的な位置まで第 1 のモードで前記録画されたビデオを再生すること、及び

前記第 1 のモードでの前記録画されたビデオの前記再生が前記録画されたビデオ内の前記特定の時間的な位置に到達したときに、前記録画されたビデオ内の前記特定の時間的な位置から第 2 のモードで前記録画されたビデオを再生することを含み、

前記録画されたビデオを再生することが、前記録画されたビデオから表示するためにビデオ信号をレンダリングすることを含み、

前記第 1 のモードでの前記録画されたビデオの前記再生が、一定且つ所定のフレームレートで前記録画されたビデオを再生することを含み、前記第 2 のモードでの前記録画されたビデオの前記再生が、対応するビデオフレームの録画の間に使用された前記フレームレ

ートと連続的に比例する可変フレームレートで、前記録画されたビデオを再生することを含み、並びに

前記一定且つ所定のフレームレートが、前記録画されたビデオを再生する装置に設定されている、方法。

【請求項 2】

前記特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための前記リクエスト内に含まれた前記時間的な位置が、ユーザによってタイムコードとして入力される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための前記リクエスト内に含まれた前記時間的な位置が、グラフィカルに提示されたタイムラインにおいて時間内の特定のポイントを選択することによって入力される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための前記リクエスト内に含まれた前記時間的な位置が、ジャンプして戻るための時間内の所定の長さを表すジャンプバックボタンを選択することによって入力される、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記イントラフレームを特定することが、前記特定の時間的な位置から所定の数のイントラフレームの位置における前記イントラフレームを特定することを含む、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

前記イントラフレームを特定することが、前記特定の時間的な位置における前記フレームの直前に時間的に配置された前記イントラフレームを特定することを含む、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

前記一定且つ所定のフレームレートが、前記録画されたビデオ内のデータから判定されない、請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

前記第 2 のモードでの録画されたビデオの再生のための前記可変フレームレートが、前記録画されたビデオ内のデータに含まれたフレームレートデータから連続的に読み出される、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 9】

前記第 2 のモードでの前記再生は、前記録画されたビデオ内のフレームに関するタイムスタンプを読むこと、及び前記録画されたビデオの前記再生をこれらのタイムスタンプに基づかせることによって、可変フレームレートを実現する、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 10】

録画されたビデオの時間的な範囲内の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生する装置であって、前記録画されたビデオが、イントラフレームとインターフレームを含み、及び、前記録画されたビデオが、異なるフレームレートを有するビデオシーケンスを含み、前記装置が、

前記録画されたビデオ内に録画された、インターフレームにある特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するためのリクエストを受信する、受信装置と、

前記リクエスト内で受信された前記特定の時間的な位置よりも前記録画されたビデオ内のより以前の時間的な位置におけるイントラフレームを特定する、特定装置と、

前記特定されたイントラフレームから前記特定の時間的な位置まで第 1 のモードで前記録画されたビデオを再生し、前記第 1 のモードでの前記録画されたビデオの前記再生が前記録画されたビデオ内の前記特定の時間的な位置に到達したときに、前記録画されたビデオ内の前記特定の時間的な位置から第 2 のモードで前記録画されたビデオを再生する、再生装置と

を備え、

前記再生装置が、前記録画されたビデオから表示するためにビデオ信号をレンダリングすることを含む操作を実行することによって録画されたビデオを再生するように構成され、

前記再生装置が、一定且つ所定のフレームレートで前記録画されたビデオを再生することを含む操作を実行することによって、前記第 1 のモードで前記録画されたビデオを再生し、対応するビデオフレームの録画の間に使用された前記フレームレートと連続的に比例する可変フレームレートで、前記第 2 のモードで前記録画されたビデオを再生するように構成され、前記一定且つ所定のフレームレートが、前記録画されたビデオを再生する前記再生装置に設定されている、機器。

【請求項 1 1】

前記特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための前記リクエスト内に含まれた前記時間的な位置が、タイムコードを含む、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 2】

前記特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための前記リクエスト内に含まれた前記時間的な位置が、グラフィカルに提示されたタイムラインにおいて時間内の特定のポイントを選択することによって入力される、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 3】

前記特定の時間的な位置から前記録画されたビデオを再生するための前記リクエスト内に含まれた前記時間的な位置が、ジャンプして戻るための時間内の所定の長さを表すジャンプバックボタンを選択することによって入力される、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 4】

前記イントラフレームを特定することが、前記特定の時間的な位置から所定の数のイントラフレームの位置における前記イントラフレームを特定することを含む、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 5】

前記イントラフレームを特定することが、前記特定の時間的な位置における前記フレームの直前に時間的に配置された前記イントラフレームを特定することを含む、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 6】

前記一定且つ所定のフレームレートが、前記録画されたビデオ内のデータから判定されない、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 7】

前記第 2 のモードでの録画されたビデオの再生のための前記可変フレームレートが、前記録画されたビデオ内のデータに含まれたフレームレートデータから連続的に読み出される、請求項 1 0 に記載の機器。

【請求項 1 8】

前記第 2 のモードでの前記再生は、前記録画されたビデオ内のフレームに関するタイムスタンプを読むこと、及び前記録画されたビデオの前記再生をこれらのタイムスタンプに基づかせることによって、可変フレームレートを実現する、請求項 1 0 に記載の機器。